

授業科目名： 衛生学	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 北原秀治 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・衛生学・公衆衛生学		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 衛生学・公衆衛生学では、多岐に及ぶ健康、保健とその阻害要因などについて学び、主に疫学的手法を用いて、その解決について検討を図るものである。エビデンスに基づく保健活動、ひいては学校における健康指導に繋がるよう、理解を深められるようにしたい。			
授業の概要 (1)健康管理に関する基礎的知識および基本的態度・習慣を習得する。 (2)人間の健康・疾病状況を疫学的な観点から理解するための基礎的知識および能力を身に付ける。 (3)地域保健・医療・福祉のしくみを理解し、その活動に参加するための基礎的知識を身に付ける。			
授業計画 第1回:衛生学・公衆衛生学とは 第2回:疫学、保健医療統計 第3回:環境および健康の管理 第4回:医の倫理 第5回:社会保障について 第6回:地域保健、母子保健 第7回:高齢者保健、産業保健 第8回:学校保健 第9回:疾病の把握 第10回:感染症の予防 第11回:生活習慣病の予防 第12回:メンタルヘルス、精神保健 第13回:がん医療政策 第14回:食品衛生、栄養 第15回:医療経済学 科目修得試験			
スクーリングでの学修 スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。			
テキスト よくわかる公衆衛生学の基本としくみ 第2版 上地賢著 秀和システム出版 スクーリング配布プリント			
参考書・参考資料等			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			